

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こあ きっず ばいん			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 5日		～	2024年 9月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2024年 9月 5日		～	2024年 9月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が1・2階に分かれていることで、取り組みの区別が行いやすかったり、子どもたちのクールダウンの場所として提供が行える。	・1・2階に分かれていることで、職員のフロアでの人数が少なくなってしまうので、必ず2名はフロアにいるようにしている。 ・現在は多機能のため、小学生の学習環境を整えるためフロアを変えることで環境整備を行っている。	・フロアを分けることで怪我のないよう職員が全体を見れるような立ち位置を行っている。
2	・活動プログラムの充実	・毎月遊びの提案を職員間で行い、全体でプログラムの検討を行い、同じプログラムにならないように意識している。 ・プログラムの検討も責任者も確認を行い、散歩や公園など外に出るプログラムも事前に道中を確認するなど、安全にも配慮を行っている。	・色々なことを取り入れて子どもたちがたくさんのごことにチャレンジしたり、たくさんのごことを経験できるような提案を行う。
3	・月2回の会議の実施 ・ケース会議を事業所内で行い、子どもの状況の把握を行っている。	・検討会も1つ1つ丁寧に言い、掘り下げながら子どもたちができることや子どもたちに強みなど職員間で意見を出し合っていく。 ・全職員で同じ対応が行えるように、話し合いの内容は全職員に周知を行う。	・今後も定期的な会議を行い、継続して会議を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や保護者同士の交流会の実施。	・イベント等も利用児のみの参加となっているので、保護者同伴のイベントも行い日頃の様子を見てもらふ機会を作っていく。 ・保護者会がないため、保護者同士の交流を行えていない。	・年1・2回でも保護者会の開催を行い、保護者同士の交流の機会を設けていく。 ・イベント等で保護者の方に日頃の様子を見てもらふ機会を作ったり、保護者と子どもたちの関りを見る機会を作るなど行っていく。
2	・地域との連携(保育所・小学校・センター等)	・保育所や小学校との連携は少なく、どのように連携を行っているのか悩む。	・保育所・小学校対事業所のみでなく、相談員も間に入ってもらい連携を行っていく。 ・センターが行っている研修などにも積極的に参加を行い、他機関やセンターとも連携しやすい関係を築いていく。
3	・事業所のプログラムの発信	・活動のプログラムはおたよりで配布しているが、実際行った内容の発信が行えておらず、実際行った活動を保護者に伝えることができていない。	・SNSで事業所の取り組みは発信しているが、回数が少ないので定期的に発信を行っていく。 ・SNSでの発信も含めて、各保護者に事業所での様子の写真などをお送りし、事業所での取り組みを知っていただく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こあ きっず ばいん		公表日		年 月 日		利用児童数		20名		回収数		12枚	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	1	3									
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2	0	4									
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3	0	1									
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0									
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	1	1									
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	0									
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0									
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0									
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1	0	1									
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	1									
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	2	3									
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0									
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	0	0									
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	4	3	わからないことや悩みがあり相談したら、いつも一緒に考えてくれたり、教えてくれたりして助かってます。								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11	1	0	0									
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	0	1									
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0									
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	6	3	保護者同士の交流は、あった方がいい方もいれば毎日仕事、休みの日は子どもの定期的な病院に行ったり、交流は緊張したり、と色々な方がいるのでなくてもいいと思う人もいます。								
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	0										

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こあ きっず ばいん		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		・利用人数に応じて活動を分けてスペースが狭くならないようにしている。 ・1・2階に分かれているが、利用用途に合わせて使っている。 ・十分に遊ぶスペース・学習スペース共に確保して適切に配置している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・専門職の職員数は適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	・施設は写真やイラストを使って、わかりやすくしている。 ・障害特性に合わせた環境は整備されているが、1・2階に分かれているので、バリアフリーにはなっていない。	・1, 2階に分かれているので、バリアフリーにはなっていないが、車いすなど利用する利用児が増えた場合は職員数の増加など検討を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・清潔さは保たれている。活動に合わせて環境を変えている。 ・毎朝職員により環境整備を行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		・こどもの持たせたいおもちゃに応じて個別での場所の利用は可能となっている。 ・必要に応じて相談室を利用するなど個別の空間を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・会議はないが、施設に健全な雰囲気を作り立てたりして、全職員で話し合っている。 ・月2回会議を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・保護者からの意見は周知されている。 ・日々の振り返り時や会議で保護者の意向を周知し、改善できるよう話し合いを行っている。	・改めて保護者を集めての聞き取りなどは行えていないので、保護者会などの開催を行い聞き取りを行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・月2回の会議やその他の時間でも改善に向けての職員間でのやり取りをしている。 ・月2回の会議、日々の振り返りで意見を出し合っている。 ・目を通し、行える改善は話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	・外部評価は行えていない。	・外部との繋がりが薄いので、第三者評価も検討を行っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・研修の案内はこまめに行っている。受講した際の報告もその都度している。 ・研修は積極的に参加して貰っている。 ・研修は、全職員に案内し、どの職員も参加ができる環境で実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・作成された保護者それぞれと面談を行った上で作成している。 ・1日のプログラムをHPに公表したり、見学時に用紙をお渡ししている。 ・HPやパンフレットなど	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	・こどもと保護者でそれぞれ面談を行った上で作成している。 ・1日のプログラムをHPに公表したり、見学時に用紙をお渡ししている。 ・ある程度意思を伝えられる児童から全ての児童に対して話を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	・保護者や児童からの聞き取りや、管理責任者以外の職員の意見も取り入れて作成している。 ・日々の振り返りで職員間で共通理解を行った上で作成している。 ・各自時間を作って計画書の確認を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	・計画に沿った支援を心掛けている。 ・支援計画は職員がいつでも確認できるように行い、会議等で確認を行っている。 ・目標に合わせた声掛けや関り、環境作りを行い、日々・月に一度、ケース会議を開き状況確認を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	・日々子どもたちの記録は行っており、ケース会議等も行い、アセスメントを行っている。 ・日々観察し、取り組み内容の確認登を行っている。 ・日常の会話や	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	・こども、保護者でそれぞれ面談を行い、日々の様子も踏まえた上で支援内容を設定している。 ・具体的な支援内容を行っている。 ・項目ごとに目標計画が作られており、検討も絡み合いを設けている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	・支援を行う職員間で話し合いを行っている。 ・それぞれのプログラムの境目を記載し、必要に応じて話し合いをい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	・毎月責任者が確認を行い、固定化にならないように努めている。 ・その都度様子を責任者に伝え、活動の相談をその都度様子に依頼を把握し、それぞれの活動を組み合わせて行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	・日々の利用児の状況に応じて行っている。 ・毎日、個別遊び・集団遊びを取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	・必ず情報共有をとり、それぞれの役割を確認した上で行っている。 ・日々の振り返りの利用し、職員の動き・療育内容の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	・気付いた点やその日の振り返りは共有するよう心掛けている。 ・日々の振り返りを利用し、職員間の振り返りの共有、職員の気付きの共有を行っている。 ・アプリ内で気付き・相談や引きつぎを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	・記録はしている。役職員、記録を確認し、情報共有したり話し合いをしている。 ・記録は日々行っているが、検討・改善までは行っていない。 ・活動に対し	・日々の記録は徹底しているが、記録を踏まえた検討や改善までは行っていないので、記録の見直しなども含めて行っていく。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1	・半年に一度、見直しをしている。 ・見直し期間前には必ず行っている。	・必要に応じては行えていないので、適切な見直しを行うため日々の目的の確認を行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・サービス担当者会議に参加している。 ・会議前に利用児の状況の共有を行い、参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・理解した職員が参加している。 ・学校での子どもの様子を先ずしたり、先ずに来てもらったりしている。 ・必要に応じて連絡を取り合っている。 ・必要に応じて、病院や保育所・学校とやり取りしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・併行利用、移行の際には、保育所や幼稚園との連携をとっている。 ・各機関と情報共有や園への訪問を必要に応じて行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		・情報共有が行えている学校とできていない学校があるので、どのように連携を行うのが適切は検討が必要。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	1	・必要に応じて助言をいただくこともある。 ・困った時に連絡を取れるようにしている。	・支援センターからの移行の際は引継ぎは行っているが、スーパーバイズや助言を行う機会がないためどのようにすれば設けられるのか他機関との連携を広めていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3		・園との交流は行えていないので、交流の機会を増やしていくため園開放時など遊びに行くことも可能なか園への確認も行っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・連絡帳や送迎時にその日の子どもの様子を伝え、保護者との共有を必ずしている。 ・メール・連絡帳を通して行っている。 ・保護者の困	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	・研修などある際はお知らせを行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・契約時に通所するために必要な情報は説明している。 ・見学・契約時に行っている。 ・事業所で契約する際	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・必ず半年に一度面談を行い、子どもと保護者の思いを確認している。 ・日々の送迎時やメールや面談を通して、保護者と話す機会も設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		・計画書を提示し、詳しく説明した上で同意を得ている。 ・説明を行った上で同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		・その都度、保護者からの困りごとがあれば面談の機会を設けている。 ・モニタリング時期以外にもメールや連絡帳を通して必要に応じて行っている。 ・必要に応じて時間を作り、2者・3者で話しを行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		・保護者会などは行っておらず、交流する機会がないので、今後保護者会の提案を行っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・相談の申し入れがあった場合にはすぐに対応し、改善に向けて取り組んでいる。 ・相談があった場合は適切に対応している。 ・保護者側で気になることがあると連絡があるとすぐに対応し、対応の体制を整備している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		・様子の発信やおでかけの案内をしている。 ・月1回おたよりを配布し、あまり更新できていないがSNSを利用し発信している。 ・SNSやHP等使って情報の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・全職員に周知している。廃棄書類は必ずシュレッダーにかけたり、撮影した写真は個人の携帯に保存しない。 ・契約時に取り扱いについてお伝えしている。 ・全職員に周知している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・聴覚障害のあるこどもには手話やタブレットカードなどを使って伝えている。 ・利用児の意見はできる限り取り入れられるよう配慮している。 ・相談員を通じ、おたよりを行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		・地域との連携は行っていない。大人数を呼べるほどのイベントなどは行っていない。 ・行事に地域の方の参加を促している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	・避難訓練や防災訓練は月に一度行っている。外出先での避難経路や連絡方法なども保護者に伝えている。 ・保護者等へは簡単な連絡となっている。	・策定はしているが、保護者への周知までは行えていないので、今後おたよりなど通して周知を行っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	・BCPの策定はしている。避難訓練や防災訓練は行っているが、色々な場面での訓練も行う必要がある。 ・定期的な避難訓練は行っている。 ・月1回から2回避難訓練を行っている。	・策定はしているが、保護者への周知までは行えていないので、今後おたよりなど通して周知を行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		・放課後の時間や土曜日の場合は保護者からの確認をとった上で関わっている。 ・契約時に確認したり、保護者との話の中でその都度確認を行っている。 ・行っており、対応方法も保護者の方を共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		・契約時に必ず食物アレルギーの有無を確認し、医師の指示書があればそれに基づく対応を行う。 ・年1回アレルギー表を保護者に記載していただき、アレルギーの確認を行っている。 ・医師の指示がない場合	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・療育前に危険な箇所はないかの確認や安全に活動できるよう職員間でのやり取りを行っている。 ・会議時に検討会を行ったり、その都度安全確認を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2	・安全計画の策定はしているが、家族への周知はこれから行っていく。 ・契約時に事業所にて説明を行っている。	・保護者への周知までは行えていないので、今後おたよりなど通して周知を行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・職員間でその都度話し合いを設け、改善につながるよう努力している。 ・ヒヤリハットがあった時点で、職員間で周知を行い、再発防止について話し合いを行っている。 ・情報共有アプリを使用し確認している。	

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	・虐待防止の研修を受け、内容を全職員に周知している。 ・外部研修を行ったり、事業所内研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	・必ず保護者に了解を得ており、計画書に記載している。 ・計画書に記載を行っている。 ・計画書作成を行い、説明時に保護者に周知している。	